

国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部会報

May 2023, JBCA KANTO CHAPTER BULLETIN, No. 119

支部長あいさつ

あつという間にゴールデンウィークも終わり、5月も中盤に差し掛かりました。

私、藤尾は、昨年度1年間ベネチア・カフオスカリ大学で交換研究を行っていましたが、無事4月に帰国することができました。その間、支部長代行を務めてくださった野村誠二先生と支部長補佐である佐藤洋一先生、その他多くの先生方にサポートいただきまして、在外研究中も関東支部会を滞りなく開催できましたことを改めてお礼申し上げます。

今回私が帰国しましたことと、新型コロナウイルスが感染症として5類に変更されたことを考慮し、今回の大会より、関東支部会を基本対面に戻すことといたしました。とは言え、これだけオンラインが主流になった時勢を考えまして、オンラインも継続するハイブリッドの形といたします。(今回に関しましては対面も参加料は無料、そのかわり茶菓等の準備も割愛させていただきたいと思います。)

今回のこの決定に際しては、今年1月にJBCAの姉妹学会でもあるABC (Association for Business Communication)の欧州支部の学会(ABC Regional Conference Europe, Middle East and Africa)に出席したことが1つの大きな契機になっています。

この学会は対面のみで実施されましたが、想像以上に多くの参加があり、オンラインの時よりも、欧州のみならず、アメリカをはじめとした世界各地からの参加者も増えていました。私自身も2年ぶりに世界各地からの先生方と再会でき、貴重な時間を持つことができました。この対面での再会、それによるネットワーク、今後のコラボレーションへと発展していく話は、オンラインでは難しかっただろうと思いました。それも踏まえ、本支部会でも対面を再開いたします。どうぞ万障お繰り合わせの上、ご参加くださいませ。もちろんオンラインでの参加も大歓迎です。

また前回同様、当学会または今回の発表にご興味をお持ちのお知り合いがいらっしゃいましたら、これを機会に対面、オンラインいずれもお誘いください。(下記参照)。

今回は、14時半開催で、まずは支部総会を開催させていただきたいと思います。次に第1部(2:50~3:50 予定)にて会員の後宮様にご発表いただきます。後宮様にはその長い経験を生かし、映画業界でのビジネスコミュニケーションを継続的にご発表いただいておりますが、私自身もイタリアでの滞在を通じ、日本の映画業界が極めて重要なビジネスの機会であることことを再認識した次第です。

その次の支部長ミニコーナーでは、現在話題になっておりますChatGPTについて佐藤洋一先生よりご発表(3:50~4:20 予定)いただきます。

第2部(4:50~6:00 予定)では、私の1年間の交換研究の報告と欧州支部の最新の研究動向について発表いたします。その後にはspecial surpriseも企画しておりますので、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいませ。

また、今回に関しましては、研究会後の久しぶりの懇親会も予定しておりますので、出席ご予約の会員の皆様には、以下のURLより可能な範囲内で出席のお知らせをいただければ幸いです。

関東支部長 藤尾美佐

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdup5e8gfYsZc9wNMZ9DWjKOEv7MeGEKPMIIQO8JPzbe4ZYIA/viewform?usp=sf_link

<対面でのご参加の場合>

東洋大学 8 号館の入り口で、名前とご所属を記入なさってください。その後 10 号館 A 2 0 2 教室へとお進みください。少しわかりにくい場所でもありますので、当日矢印などを掲示しておくか、誰かが案内する形にいたします。<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/hakusan/access.html>

<ZOOM 研究会ご参加の際の注意点>

このニュースレターは会員の皆様への支部会報ですので、URL および ID など、以下に掲載いたします。ハイブリッド開催用の Zoom URL を作成しましたのでご査収ください。

<https://us02web.zoom.us/j/85368673917?pwd=SEM4YnJjSGhncnZLSkg1VHliT3dYZz09>

Meeting ID: 853 6867 3917

Passcode: 026420

ZOOM には、マイクをオフにしてお入りください。また、万が一のことを考えまして、当日録画させていただきますので、事前にご了承くださいませ。(そのため、ビデオのオン・オフも個々にご判断いただければ幸いです)。これは公開目的ではなく、滞りなく研究会が終わった際には、すぐに消去する予定です。ただし、学会の PR のため、2、3 分の動画を編集する可能性もあります。その際には、必ずご本人に事前の同意を伺いますので、同意なく画像が残ることなどは一切ありません。

ZOOM の使用にご質問がある場合は、上記、佐藤洋一先生までお問い合わせください。

<ご紹介者があった場合>

会員の皆様からのご紹介がありましたら、お知り合いの方に体験参加いただくことも大歓迎です。是非、お声がけください。その際は、当日のスムーズな運用のため、以下の 3 名のメールアドレスに、事前に出席者のお名前をお知らせいただければ幸いです。念の為、ご本人からも上記アドレスにて参加をお申し込みいただければ幸いです。

支部長 藤尾美佐	misa_f@toyo.jp
支部長代行 野村誠二	seijinomura@nifty.com
支部長補佐 佐藤洋一	sato108@toyo.jp

多くの方のご参加、心よりお待ちしております。

2023 年 5 月 第 119 回関東支部研究会報告：研究テーマと発表内容

日程： 2023 年 5 月 20 日（土） 午後 2 時半開始 午後 6 時終了（予定）（オンラインも併用）
会場： 東洋大学白山キャンパス 10 号館 A202 教室

午後 2:30 ～2:50 支部長挨拶、理事長挨拶および支部総会

午後 2:50 ～3:50 発表 1 (研究発表)

発表者： メディア&コンテンツビジネスコンサルタント 元ソニー・ピクチャーズ 後宮昌樹

題 目： 「ハリウッド映画の字幕・吹き替えの違いから学ぶビジネス英語」

要 旨： ハリウッド映画には、日本語字幕と日本語吹き替えの翻訳があり、両方を見比べると別々の翻訳者の意図や、意味が分かりやすい。字幕にも、吹き替えにも、翻訳作業には字数などの制約があり、そのためどうしても意識が起きてしまうこともあるが、しかし、字幕、吹き替えの日本語訳には、それぞれにメリットとデメリットがあり、それらを理解した上で、どちらをビジネス英語学習に選べばより効果的で良いかを考察する。十愛に映画配給会社は使っている英語による学習法と、学生たちが今後将来の希望の職業の参考にもなるための、「職業別のおすすめビジネス映画」もご紹介もする。

午後 3:50 ～4:20 支部長ミニ・コーナー

発表者：佐藤洋一（東洋大学）

題 目： デジコミシリーズその 2:AI 言語処理ツールを活用したビジネスコミュニケーション、およびその研究の可能性について

要 旨： 本発表では、AI ベースの言語モデルを組み込んだ言語処理ツールが、ビジネスコミュニケーション、並びにその研究に与える可能性について、発表者のツール使用経験に即しながら紹介していく。2022 年 11 月以降、AI ベースの言語モデルを組み込んだ言語処理ツールの発展が目覚ましいことは論を俟たない。特に注目すべきは、米国の Open AI 社が開発した言語モデル GPT-3/4 をベースとした ChatGPT で、最近では世界的な話題となっている。ChatGPT はプロンプト次第で、さまざまな活用方法の可能性がある。他方、多くの場合は情報検索ツールとしての使われ方がされており、特にビジネスコミュニケーション（およびその研究）面での活用方法はまだ十分に議論されていない。今回の支部長ミニコーナーでは、前半でこの言語処理モデルの活用法について、発表者の方から話題提供をさせていただき、ひろく、ざっくりと知っていただいた上で、後半では、今後の活用や研究の可能性などについてフロアを交えたディスカッションなどをしていきたい。

午後 4:20 ～4:50 休憩（新入会員のご紹介含む）

午後 4:50～6:00 発表 2 (研究報告)

発表者： 藤尾 美佐（東洋大学 経営学部 教授）

題 目： 西方見聞録-欧州のビジネス・コミュニケーション研究最前線

要 旨： 発表者、藤尾は、昨年度 1 年間ベネチア・カフオスカリ大学で交換研究を行っていた。この間に、イタリアのみならずスイスやスロベニアの大学でも、調査や授業見学、招待講演などの貴重な機会を得ることができ、発表の前半は、欧州のこうした大学と比べ日本の大

学生に圧倒的に欠けている能力について 実例を交えながら議論していく。発表の後半は、今年1月にナポリで行われた ABC (Association for Business Communication)学会の欧州支部 (ABC Regional Conference Europe, Middle East and Africa) のプログラムや学会のコーディネーターへのインタビューを元に、欧州でのビジネス・コミュニケーション研究の最新事情と、ここ数年の ABC のアジア・パシフィック支部の研究動向についても議論する。

コメンテーター： 林田博光先生（中央大学商学部 名誉教授）

午後 6:00 ～ 懇親会

前回支部会について

2023年1月28日（土）に行われました、第118回関東支部会(オンライン)の発表テーマ及び概要を報告致します。

*要旨や所属は発表時のもの。

2023年1月 第118回関東支部研究会報告：研究テーマと発表内容

日程： 2023年1月28日（土）

会場： Zoomによるオンライン研究会 午後3時開始 午後6時終了（予定）

午後 3:00 ～3:10 支部長挨拶および事務局からの報告

午後 3:10 ～3:55 発表1（研究発表）

発表者： 山田正人様 株式会社ドウ・ベスト(元資生堂)

題目： アジアビジネスコミュニケーションマップ

要旨： マネージメントとしてメンバーへのコミュニケーションの方法は非常に重要と言え、その国々に合わせた適切なコミュニケーション方法により、人材を動かし、成果につなげることがビジネス成功の一因といえます。エリン・マイヤー教授のコミュニケーションマップよりインスピレーションを受け(High Context vs Low Context・Indirect Negative feedback vs Direct Negative feedback など)で国別のコミュニケーション特性の分類)、自分のマネージメントとしての経験を、マネージメント軸(北風 vs 太陽)とコミュニケーションスタイル軸(パブリック vs プライベート)の2つの軸で、自分が駐在した、台湾・香港・タイランド・上海・北京を分類しました。自分の経験に基づく独自の分析となりますが、将来、グローバルビジネスを担う人材やその人材を育成するビジネスコミュニケーション学会の先生方の参考になれば幸いです。

午後 3:55 ～4:10 新入会員のご紹介ほか

午後 4:10 ～4:30 支部総会（2022年度の支部会計報告・監査報告について）

午後 4:30～6:00 第2部（ゲスト・スピーカー）

「グローバル人材に必要な英語以外の能力 Part 1: ビジネス日本語」

午後 4:30 ～4:45 第 2 部 インTRODクシヨN (藤尾美佐支部長)

午後 4:45 ～5:15 (ゲスト・スピーカー)

発表者： 玉田誠様 (東洋大学国際部 次長)

題 目： ビジネス日本語教育のための東洋大学の新たな試み

要 旨： 東洋大学は外国人向けのビジネス日本語教育を強化し、本学のブランドの一つにする。留学生のキャリア構築には日本企業による採用が重要とみて、独自プログラムを開講。オンライン 10 日間で 2 万人超が受講するなど実績を上げている。文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に 2022 年度採択を受け、この戦略に沿った受け入れを増やす。アルバイト先で覚える会話と異なる、好待遇の就職につながる留学生の支援を進める。

2020 年度から「ビジネス日本語ポイント講座」を開講。無料で、大学コンソーシアム型の「JVキャンパス」にも提供しており、各回、2 万人超を集めた。2022 年 9 月は各コースの手数料が約 10 ドルの 7 日間コースにしたが、14 回分に世界約 50 カ国から延べ約 3,300 人が受講し、手応えを得た。内訳は日系企業など会社員 28%、学部生 27%、大学院生 15%、日本語教師 6%だった。国別ではベトナム、中国、イタリアなどが多く、敬語や日本企業文化などが人気だった。

午後 5:15～5:45: (ゲスト・スピーカー)

発表者： マルチェッラ・マリオッティ (Marcella MARIOTTI) 先生

(ヴェネツィア・カフオスカリ大学アジア・北アフリカ研究学部准教授)

題 目： イタリアにおけるビジネス日本語教育

—ケース・スタディーとしてのカフオスカリ大学での授業—

要 旨： ヴェネツィア・カフオスカリ大学のビジネス日本語コースは 2011 年に始まりました。本発表では、選択科目であった初期段階から、経済・法律コースに入学する学生の必修科目となった中期段階、そして現在も必修科目でありながら、カフオスカリ大学が開発した e ラーニングプラットフォーム (JaLea Business, Mariotti, Mantelli, Garassino 2018) と Giapponese per il Business. Guida al linguaggio nel mondo del lavoro (Mariotti 2019: Japanese for Business. A guide to using language in the professional environment.) という専用のテキストに頼ることができる現在まで、その経路と様子を紹介します。

また、2019 年から 21 年にかけて行った Virtual businesses exchange プロジェクト (Mariotti, Nishida, 2021) が、コロナ禍で頻繁にメディアに取り上げている学生の低い自尊心、短い集中力、就職への絶望などといった課題への対処にどのように役立ったかと、ビジネス外国語研究への貢献を論じます。

午後 5:45 ～6:00 質疑応答

午後 6:00 ～ オンライン懇親会

*会員の方の新刊情報があれば、お知らせください。

編集・発行 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20
東洋大学 経営学部 藤尾美佐 研究室内
国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部長 藤尾美佐
TEL 03-3945-7295 (直通) FAX 03-3945-7477 (教務課)
電子メール: misa.fujio@gmail.com / misa_f@toyo.jp